

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3972400307
法人名	医療法人 岡本会
事業所名	グループホーム 加田
訪問調査日	平成 19年 7月 25日
評価確定日	平成 19年 10月 29日
評価機関名	高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月6日

【評価実施概要】

事業所番号	3972400307
法人名	医療法人 岡本会
事業所名	グループホーム 加田
所在地 (電話番号)	高知県吾川郡いの町加田310 (電話)088-893-1345

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	2019年7月25日	評価確定日	2019年10月29日

【情報提供票より】(19年7月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16	年	4	月	1	日
ユニット数	2	ユニット	18人			
職員数	15	人	常勤	9人,	非常勤	6人, 常勤換算 12.6人

(2)建物概要

建物形態	併設/単独○	○新築/改築
建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,800 円
敷金	有()円 無()		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 無()	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1000 円

(4)利用者の概要(平成19年7月25日)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名	
要介護1	5名	要介護2	5名			
要介護3	0名	要介護4	6名			
要介護5	2名	要支援2	0名			
年齢	平均	85歳	最低	74歳	最高	95歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	さくら病院、森木病院、森沢クリニック、みやべ歯科、	2
---------	---------------------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

まとまりのある地区にあり、地域住民との深い信頼関係が構築されている。災害時や緊急時にも気にかけて支えてくれる人がいることは何よりの財産で心強いことである。また施設を開放し地域住民に憩いの場所を提供していることもすばらしい取り組みである。開設時から職員の異動は殆どなく、職場としての雰囲気も良く利用者に安定したサービスが提供されており、管理者をはじめスタッフの利用者への思いも伝わってきた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価結果を報告し、改善課題についてのミーティングや職員会議の中で話し合いを行い、指摘のあった介護記録法などについては勉強会をもち現在も取り組み中である。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者をはじめ全職員が評価の意義を理解し、今回の自己評価においても話し合いを持ち作成している。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業所の活動計画、事後報告(行事を含む)、現在の利用者の状態報告、家族や出席者からの質問、要望などが主とした内容である。前回の評価結果についての報告はされていない。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会は結成されていないものの、運営推進会議や面会時、電話などで様々な意見が聞かれる。意見箱も設置され意見など受け取る体制もできている。家族からは「足が弱いので毎日散歩にいった欲しい」などの切実な細やかな要望もあり、様々な意見について職員間で話し合いを持ち、検討されて運営に反映するよう取り組まれている。個別の意見についてはケアプランに記入し取り組んでいる。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地区の自治会には加入していないが、地域の情報は把握できている。地域の清掃活動や防災訓練に参加されるなど積極的な交流が見られる。先の台風時(浸水)には地区長が見廻りにこられたり、何事かあると近所の住民が声をかけてくれるなど連携がとれている。又施設の前庭を開放し地区の住民が週2回パットゴルフを楽しむ様子がみられる。時には利用者も近くで観戦されることもあるなど顔なじみの関係ができている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔事業所では他にもグループホームを有しているが、「グループホーム加田」独自の理念を掲げている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔基本目標の文言の中には、地域密着のサービスの重要性が盛り込まれている。〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔毎朝のミーティングや職員会等で確認し合うなど、意識づけの努力と取り組みをしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔日々の生活場面において、一人ひとりを尊重し、安心と満足感をもって暮らし続けられるよう表情、言葉かけには特に注意をし利用者のペースを大切に考えて取り組んでいる。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 〔地域の自治会には加入していない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地区長、地域出身の職員から情報は入手できている。週1回、前庭を地域の方々にパットゴルフの場として提供している。〕	<input type="checkbox"/>	自治会に入会されて、地域の一員としての参加と活動をされることで、これまで以上に地域住民との交流も増し理念に即した運営が期待されていくので加入を望む。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔三者で評価については話し合い、その意義について理解されている。今回の自己評価についても、全職員が話し合って取り組んだ。〕 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔ミーティングで評価の結果を伝え、記録等については勉強会を開くなど改善に取り組まれたが、危険物の収納などの改善が見受けられなかったので取り組みを望む。〕	<input type="checkbox"/>	改善計画は作成されておらず、取り組みが見えにくいので計画表を作成することで取り組み結果を示すことが望ましい。また事故報告書も前回の課題とされていたが、事故後の対策の検討、記録に具体性がみられない。個別の記録（ケアプランの実施を含む）も含め記録の取り方について一層の取り組みを期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔委員からの質問に対してグループホームからの回答が記録されており、双方向のコミュニケーションを図りながらの会議となっている。〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔前回の外部評価については報告していない。〕	○	運営推進会議では、自己評価の内容を説明し、それに伴う外部評価の結果と改善の取り組みなどを報告し、率直な意見や助言をいただきサービスの質の向上に役立てるような取り組みを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔町行政には毎月ホーム便りを送付したり、電話などで相談をすることもある。また居宅介護支援事業所連絡会に町行政から参加を進められて出席するなど話し合いや連絡を取り合っている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔来訪時には声をかけ利用者の近況など伝えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔利用者の暮らしぶりについては面会時や、月1回の通信で伝えたり、面会時に個人の写真などを手渡しすることもある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔緊急時、必要時には電話連絡をしている。〕 <input type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔県外に在住されている家族には、金銭出納帳など預かり金についての報告が定期的には行われていない。〕	○	出納帳の中には家族の確認印またはサインのないものもある。確認印をもらう方法などについて取り決められ徹底することが必要である。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会は設けられていないが、運営推進会議や面会時に意見などは出ている。意見箱も用意されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔食事形態のこと、歩行についてなど、細かな点でも家族の意見を聞き検討し、取り入れるなど、諸々の意見を運営にも反映させている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔管理者、職員共に異動は少なく馴染みの職員が継続的に支える体制が出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔交代の場合には2週間～1ヵ月程度の引継ぎ期間を取っているため、スムーズに移行し利用者の混乱を招くこともない。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔日常的に介護のノウハウを話し合ったり、課題を取り上げ学習をされる様子が窺える。また研修には全職員が参加している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修者は復命書を提出しミーティングなどで報告したり、書面での周知を図っている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔町内会で交流し、さらに町内のグループホームのみでの会を開催することも予定されている。〕		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染むよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔入居前には本人、家族ともにグループホームに来所されたり、本人を外して家族と2回程話し合いをされる中で、本人に係わる情報を収集されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔利用者の中には1ヵ月間の体験をした後入居された例もあり、仕組みはできている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔自宅、老健、病院等からいずれの場合からでも面接を行っている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔農作業、家事などについても折々に意見を聞かれ教わっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔コミュニケーションの中にも自然な信頼関係が見受けられ、職員からは利用者に対して「ありがとう」の気持ちが表れている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔野菜の名前、農作業の手法を教わったり、昔のお祭りのこと、方言のことなど教えてもらうなど学んだり、支えあう関係を築いている。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔利用者から、「今日」、「今」どうしたいのか直接聞き取るように心がけておられる。買い物に行きたい、散歩したいなどの声が聞かれるとのこと。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔日ごろの表情や行動の変化から読み取ったり、家族から情報を得るようにしている。〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行って 〔毎日のミーティング時には計画の動向について意見交換を行い、モニタリングは月1回行っている。〕		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔基本的には長期6か月に1回、短期3か月に1回で見直し、モニタリングは毎月行なっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔緊急な状態の変化(転落事故など)や歩行困難な方であっても「歩かせてほしい」との家族からの要望があったときには、立位訓練からのプランを作成するなど随時見直しをしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔本人の状態に応じて随時見直しされ、期間の設定をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 ^の の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。 〔主治医の医療処置を何時でも受けられ、グループホームでの暮らしが継続できるよう支援されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔看取り介護の指針があり、その同意書についても入居時には説明され、これまでに同意書に署名された家族もある。まだ看取りをされた事例はないが仕組みはできて <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔居酒屋、故郷訪問、婚礼の送迎の支援、通院の送迎についても家族の要望で柔軟な対応をしている。〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔家族の希望で主治医から協力病院に変更した利用者も多いが、眼科等専門科は継続して受診し、病状によっては主治医からの紹介により他の病院に受診するなど支援されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診の通院は、本人や家族の希望に応じて対応している。 〔協力病院への通院は施設で送迎をし、利用者の主治医への通院も家族と連携をとり柔軟な対応をされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔急を要するときは電話で連絡をするが、家族の面会時に報告をすることで共有が出来る。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔看取りの対応指針は作成され、グループホームには看護師が配置され家族、医師、職員等を交え話し合いを行い方針の共有ができています。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 〔家族の意向を第一に医師等と連携を取り、職員とも話し合いを進めながら、安心して納得のいく看取りを選択できる体制が出来ている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔職員の声かけや誘導時の動作などには、気になる様子はみられず、さりげなくやさしい対応で支援されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔時々、職員で話し合いをし確認し合うなど徹底できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔個人情報保護の重要性を理解し、職員間で折々に確認しあっている。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔利用者に「今日は何をしたいか」「今何かしたいことはないか」などの問いかけをし、希望に添うよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない 〔業務日程を優先せず、一人ひとりの利用者の生活のペースに合わせた暮らしが出来るよう心がけ支援されている。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔食べたいものの意向を献立に盛り込み、下拵え(豆のすじとりなど)、片付けなどにも、可能な限り利用者も参加されるなど、気持ちを大切に支援されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔同じテーブルでさりげなく気配りをしながら、利用者と同じ食事をし、食材の話を持ち出すなど楽しい雰囲気作りを大切にされているのが窺える。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望に合わせて入浴できるよう、職員勤務体制などについて工夫をしている。 〔本人の希望を聞き、時間帯を設定できる体制はあるが、現在は夜間浴の希望はなく日中のみの入浴である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔入浴拒否者には、本人の状態を配慮しながら適切な声かけやチームプレーによる支援をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容 ・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔利用者、職員共に地域出身の方が多く、既に多くを把握されている場合もあるが、家族からの情報を得て更に把握に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔特に畑仕事、家事等の作業の中では利用者の経験や知恵を出し合う場面になっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出す働きかけを行っている。 〔畑仕事、家事、カラオケ、トランプ、読書など好きなことや楽しみごとを把握していて、その時々に応じて一緒に楽しんだり、場面作りをするなど支援されている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔散歩をはじめ、これまで行きつけの量販店や美容院に出かけたりしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に 行っている。 〔車椅子での散歩は天気の良い日に出かけている。〕 <input type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔天気の良い日の散歩以外は買い物など月1～2回程度の利用者が多い。移動販売が施設の近くに週2回来るが「買ってきて」と依頼される利用者が多いなど日常的に戸外への外出は少ない。〕	○	行事として季節ごとのドライブに出かけるなどはしているが、日常的に利用者からの希望や職員からの声かけにより、個別の対応で外に出ることは、気分転換を図りストレスの発散ができたりするので重要である。今後日常的に外出の機会を設けられることを期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔日中は、玄関や居室を施錠していない。しかし夜間は利用者(物盗られ妄想)自身が居室内で鍵を閉めることがあり、職員はスペアキーを持ち対応する場合がある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔個々の無断外出の習慣、行動経路など概ね把握され対応している。夜間8時頃より玄関の戸にカーテンを吊ることで防ぐことが出来たことなど工夫をされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔近隣の住民とは顔なじみであり、探しに外に出ると「あっちへ行きよったよ」と声をかけてもらえる等協力が得られる関係が出来ている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 〔現在まで施設で実施する定期的な訓練に(年2回)地域住民の参加はないが、地域で行う訓練には参加している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔非常用水はダンボールにまとめ台所に収納している。又食料は冷凍庫にストックがある。消火器など設備点検の書類は法人母体で管理されている。〕		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔食事摂取量のチェックは出来ているが水分の把握が十分でない。〕 <input type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔利用者の嗜好などには配慮が出来ているが、献立からみて栄養バランスに偏りがみられる。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔年1回栄養士にチェックを受けている。〕	○	利用者の状態によって食事に変化をつけるなどの工夫はされている。水分の摂取量のチェックは極めて大切なので、今後食事と合わせて記録されることを望む。また利用者に提供する食事の内容は重要視すべきなので栄養士などに定期的にチェックを依頼し、指導を受けられることを期待する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔テーブル、ソファの配置など、利用者への配慮が窺える。〕 <input type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔玄関やフロアの壁、居室入り口に飾り付けが多く、落ち着いた雰囲気を損ねていると思われる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔季節の花を使った生け花、調理場とフロアとが繋がっているため、調理の音が聞こえたり、煮物の匂いからも季節を感じ取れる。空間の広さは適当で心地よい。〕	○	全体的に装飾が多く家庭的とはいえない。共用空間が適度な広さなので飾り付けなどを整理し清潔で家庭的な雰囲気の漂う空間作りをされることが望ましい。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔居室には量があつたり、壁には亡き夫、孫や子ども達の写真を飾ったり、椅子や箆笥、時計、カレンダーなどを配置し、自分の落ち着く場所づくりに配慮が窺える。〕 <input type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔床にカーペットを敷いたり、折り紙で飾りをするなど工夫もあるが、中にはプラスチックケースに衣類を収納していたり、やや殺風景と思われる居室もある。〕	○	ユニットにより違いがみられたが、利用者の好み、状態の違いもあり工夫にも苦労があるが、家族に根気良く話しをし、その人の住まいとしてほっとできる空間作りのアイデアを引き続き出し合いながら取り組むことを望む。